

事務事業名	農道保全対策事業(木次地区、飯石・斐伊地区農道負担金)	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	農林道G	課長名	渡部克彦
施策名	(33)農業の振興	担当者名	小田川博志	電話番号	0854-40-1053
目的	市内の農業従事者	意図	A)消費者に信頼される安心・安全な農畜産物を生産する。B)農家所得の向上。	(内線)	3711
基本事業名	(096)生産基盤の整備・保全	予算科目	会計 013006 款 056537	大事業名	県営農道整備事業
目的	農業従事者	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。	中事業名	農道保全対策事業負担金

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 年度～ 28 年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 事業主体は島根県 ①木次地区(塔の村橋点検診断、歩道概略設計、路面診断) ②飯石・斐伊地区(山方大橋点検診断、路面及び法面診断) 基本の負担率は、事業費に対し25%となる

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 負担金支出書類の作成及び測試箇所の確認・立会	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 負担金支出書類の作成及び測試箇所の確認・立会			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 負担金	千円		1,680	14,484	8,825
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	農業従事者	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 受益面積	ha			1,583	1,583	1,583	
	イ							
	ウ							
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	農道点検及び機能診断を行うことにより、農作物や資材・耕作機械の運搬作業などの労力が軽減され、農業の生産性が向上する。	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 斐伊地区農道	m			2,362.0	2,362.0	2,362.0	
	イ 飯石広域農道	m			25,431	25,431	25,431	
	ウ 橋梁点検	橋			5	0	8	

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	事業負担金の支出 木次地区負担金 6,075千円 飯石・斐伊地区負担金 8,409千円	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円		1,600	14,400	8,800
		その他	千円				
		一般財源	千円		80	84	25
		事業費計(A)	千円		1,680	14,484	8,825
人件費	人件内訳	正規職員従事人数	人		6	6	
		延べ業務時間	時間		600	500	
		人件費計(B)	千円		2,365	1,959	
		トータルコスト(A)+(B)	千円		4,045	16,443	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
なし	なし	なし

事務事業名	農道保全対策事業(木次地区、飯石・斐伊地区農道負担金)	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	-----------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 全路線が良好な路面で、また法面保護などが十分であれば、災害対策また事故防止につながり、農作物の運搬などが更に向上する。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
D 公平性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由 災害、事故防止には人命にもかかわるため必要不可欠な事業である。また、補助事業でなければ単独費となる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 県営事業であり、市の負担が低いため有利である。	
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 修繕にしても、オーバーレイなど安価な工法はあるが、耐用年数が短く再度修繕が必要になるため、十分に調査し、舗装基準に適した工法を精査する。	
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 県営事業のため、もともと業務時間は少ないので削減余地は無い。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 農道の現地調査を行った上で、県営事業により実施されているため、公平である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 通行者の安全性、農作物等の運搬作業軽減のため、継続的事业の実施が必要とされている。県営事業であるため、農道整備が完了するまで継続的に整備要望が必要である。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
県と連帯し、引き続き円滑な事業推進に努める。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			